

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 5 区分

【発行日】平成 16 年 12 月 2 日 (2004.12.2)

【公開番号】特開 2003-171820 (P2003-171820A)

【公開日】平成 15 年 6 月 20 日 (2003.6.20)

【出願番号】特願 2001-376187 (P2001-376187)

【国際特許分類第 7 版】

D 0 1 F 1/10

D 0 1 F 1/09

D 0 1 F 6/48

D 0 1 F 6/90

D 0 1 F 6/92

G 1 0 K 11/162

【F I】

D 0 1 F 1/10

D 0 1 F 1/09

D 0 1 F 6/48 C

D 0 1 F 6/90 3 2 1 B

D 0 1 F 6/92 3 0 5

D 0 1 F 6/92 3 0 8 A

G 1 0 K 11/16 A

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 12 月 17 日 (2003.12.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

繊維材料が主として圧電性高分子からなり、かつ導電性材料を含有した、制振吸音性を有する繊維。

【請求項 2】

圧電性高分子の含有量が 50 体積 % 以上である、請求項 1 に記載の制振吸音性を有する繊維。

【請求項 3】

導電性材料の含有量が 0.01 ~ 20 重量 % である、請求項 1 または 2 に記載の制振吸音性を有する繊維。

【請求項 4】

導電性材料の平均粒径が 10  $\mu$ m 以下の粉粒体であることを特徴とする、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の制振吸音性を有する繊維。

【請求項 5】

無機圧電性材料および / または分子量 1000 以下の有機圧電性材料を含有していることを特徴とする請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の制振吸音性を有する繊維。

【請求項 6】

無機圧電性材料および / または分子量 1000 以下の有機圧電性材料の含有量が 0.1 ~ 50 重量 % である、請求項 5 に記載の制振吸音性を有する繊維。

【請求項 7】

圧電性材料の平均粒径が $10\text{ }\mu\text{m}$ 以下の粉粒体であることを特徴とする、請求項5または6に記載の制振吸音性を有する繊維。

【請求項8】

繊維単系の直径が $5000\text{ }\mu\text{m}$ 以下であることを特徴とする、請求項1～7のいずれか1項に記載の制振吸音性を有する繊維。

【請求項9】

繊維の強度が $0.05\text{ cN/dtex}$ 以上であることを特徴とする、請求項1～8のいずれか1項に記載の制振吸音性を有する繊維。

【請求項10】

請求項1～9のいずれか1項記載の繊維を少なくとも一部に用いてなる不織布構造体。

【請求項11】

請求項1～9のいずれか1項記載の繊維を少なくとも一部に用いてなるカーペット。

【請求項12】

請求項1～9のいずれか1項記載の繊維を少なくとも一部に用いてなるリノリューム。

【請求項13】

主として圧電性高分子からなる高分子樹脂材料に導電性材料を熔融混練し、次いで熔融紡糸を行うことを特徴とする、制振吸音性を有する繊維の製造方法。

【請求項14】

無機圧電性材料および/または分子量 $1000$ 以下の有機圧電性材料を同時に添加することを特徴とする、請求項13に記載の制振吸音性を有する繊維の製造方法。